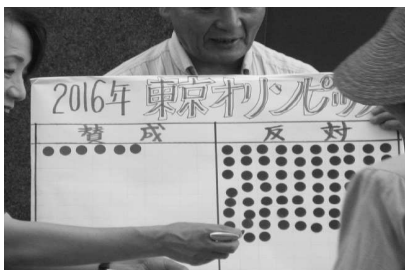


## 私達は2006年5月から行動を始めました

オリンピックのどこが問題なのか明らかにする集会を開いたり、オリンピック招致に対する市民の生の意見を知るべく街頭で賛否を問うシール投票を行なうなど活動しています。また招致を中心に行う東京都やJOCに対し粘り強く質問書や申し入れ、情報公開などを行いました。



### 主な行動実績

- 2006. 5. 24 JOC 会長宛 要望書
  - 8. 5 シール投票 荻窪駅 (みどり三多摩と共催)
  - 8. 8 JOC 会長宛 申入書提出 (みどり三多摩と連名) 同日、記者会見
- 10. 26 「東京にオリンピックはいらないネット」の拡大会議。
- 12. 12 日本オリンピック委員会(JOC)に質問状提出
- 2007. 1. 16 東京都招致推進本部に質問状提出
  - 2. 10 「オリンピックはいらない! 検証～東京招致の問題点」集会 (渋谷勤労者福祉会館)
  - 3. 22 東京都招致推進本部に質問状提出  
東京都生活文化局都民生活部管理法人課 (NPO 法人) に質問状提出  
東京オリンピック招致委員会に質問状提出
  - 4. 13 石原都知事に申入書提出

### ◇ ◆ ◇ 今後の予定 ◇ ◆ ◇

当面は、招致活動に関する情報の公開を促すため、質問状の提出や回答内容の検討などを原則的に月に1度の定例会合、および随時の懇談会等を行い、進めていく予定です。

6月7日(木)・・・定例会合 19:00開始 於:都庁議会棟・2階談話室3

7月8日(日)・・・懇談会「もっと知ろう! 2016年東京オリンピック」

午後を予定 (場所等詳細については未定) 参加無料

\*. ご参加に際しては、事前に下記連絡先にご連絡下さい。

### ご賛同のお願い

私たちが取り組んでいるこの問題は、多くの方々のご協力なくして解決できるものではありません。ぜひ私たちとともに声を上げて下さい。行動にご参加下さい。広くご賛同をお願い致します!

当ネットへの参加賛同 団体・個人ともに一口1,000円 下記の郵便口座にお振込み下さい。

郵便局口座番号:00110-6-706085 口座名:東京にオリンピックはいらないネット

連絡先:東京にオリンピックはいらないネット

〒165-0065 東京都中野区新井 5-13-3 早川方

tel&fax 03-3330-3016

電子メール no-olymp@jcom.home.ne.jp

発行:東京にオリンピックはいらないネットニュースレター編集委員会 100円

## ニュースレター

# 東京に オリンピックは いらない!

創刊号

2007年5月26日発行

### オリンピック招致を改めて考える ～～東京都知事選を振り返って～～

4月8日の東京都知事選の選挙結果、皆様はどのようにお感じになりましたか? ご存知の通り石原慎太郎さんが三選されました。選挙結果次第ではこの創刊号は存在しなかったかも、あるいは最後の報告集となっていたかも知れません。しかし現実には、より一層「オリンピックはいらない!」運動が重要になったことを示しています。

都庁内での恐怖政治、独断政治、身内や親近者優遇政治がまだ4年も続くこととなりました。そして何より「彼ら」の目論見どおりオリンピック開催を契機に、いや招致活動それ自体を強力な動輪として、臨海副都心の破綻の穴埋め、ハコモノ開発事業、さらに皇室(皇太子夫妻)を担ぎ出すなど「彼ら」の責任放棄を許す理想社会、天皇中心の美しい国を目指す動きがさらに加速します。

「彼ら」とは石原東京都知事のみならず、都知事を担ぐ人々全体を指します。これまでの招致活動の中で見えてきた顔は、日本経団連の御手洗会長や森喜朗元首相など東京都の枠を超え日本全体に影響を持つ面々です。総事業費7兆円(日本共産党調べ)とも言われるオリンピック関連施設および外郭環状道路や首都圏中央連絡自動車道(圏央道)などの建設費は、国家プロジェクトの費用として国民にのしかかります。また安部内閣の目指す「美しい国」を、自らの功績として目に見える形で現す最高の舞台ともなり、さらに、安易な改憲を目指す動きと連動しているとの懸念も生じます。東京都だけではなく、日本全体の行く末までも視野に入れて、この問題を考えることが必要です。

石原東京都知事は「オリンピックでみんなで大きな夢を見ようよ」と言っています。果たして、みんなとは誰のことでしょうか? 今このニュースレターをお読みのあなたですか? あなたがオリンピックの夢を見るとしたら、それはどんな夢? 招致に失敗し、残ったハコモノが虚しく風雨にさらされる、その後に長く続く重い税負担と貧弱な福祉政策。そんな悪夢なら誰も見たくはありません。おいしい夢を見るのは「彼ら」だけだと考えれば、すべてに合点がいきます。

この都知事選の期間中、報道各社がオリンピック招致の世論調査を行っています。毎日新聞～招致に反対40%・賛成36%。読売新聞～招致の中止・再検討が6割以上。時事通信社～招致反対52%、賛成43%など。しかし賛成意見を持つ候補者が当選したという事実から、オリンピック招致はこの都知事選の争点にはならなかったと判断することには、無理を要しません。にもかかわらず、このまま放置すれば「彼ら」は、都民の信任を得たと解釈して招致活動をさらに加速させ、進めていくでしょう。

これを止めることが当ネットの目的です。先の選挙ではその機会を逸する結果となりましたが、次の機会は4年後ではありません。措置が早ければ早いほど、問題を小さく抑えることができます。2009年10月のIOC総会で無残にも開催都市に選ばれず、多額の招致費を無駄にした責任を取って都知事が辞職する、その時まで待っていて良いのでしょうか? その後に私達は、あの悪夢に悩まされることになるのです。オリンピックはいらない!の声で、この選挙結果の空しさを一刻も早く吹き飛ばそう!